

指定位置にひとつ以上の矩形を描画します。

書式

1B 7E 32 LEN C1 X0 Y0 X1 Y1 Xn Yn

パラメータ長

LEN (2バイト): 可変。 X'0009'~X'7FFF'

パラメータ

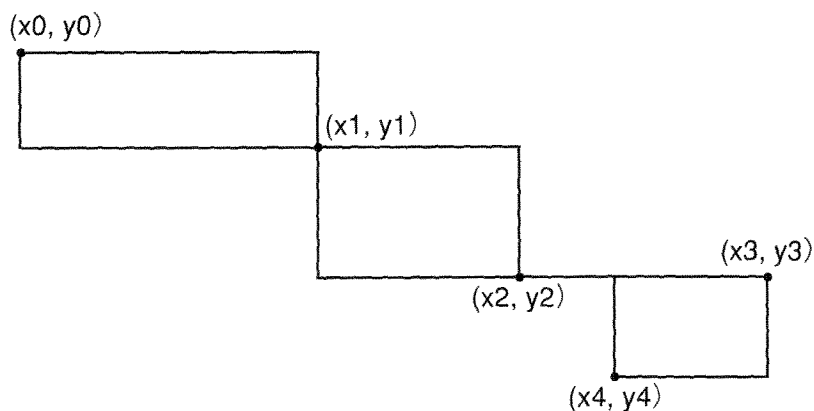
X0 Y0 (各2バイト): 1番目の矩形の始点座標 (X-Y座標系で指定します。以下同)
論理ページ内の絶対座標 (X,Y座標) を基準に1/1440インチ単位で指定します。(以下同)

X1 Y1 (各2バイト): 1番目の矩形の終点座標, かつ2番目の矩形の開始座標

X2 Y2 (各2バイト): 2番目の矩形の終点座標, かつ3番目の矩形の開始座標

.... 以下同様に各矩形の座標を続けます。

例: BOX (x0,y0) (x1,y1) (x2,y2) (x3,y3) (x4,y4) の場合



1番目の矩形: (x0, y0)-(x0, y1), (x0, y1)-(x1, y1), (x1, y1)-(x1, y0), (x1, y0)-(x0, y0)

2番目の矩形: (x1, y1)-(x1, y2), (x1, y2)-(x2, y2), (x2, y2)-(x2, y1), (x2, y1)-(x1, y1)

3番目の矩形: (x2, y2)-(x2, y3), (x2, y3)-(x3, y3), (x3, y3)-(x3, y2), (x3, y2)-(x2, y2)

[この場合, y2=y3のため, 直線になる]

4番目の矩形: (x3, y3)-(x2, y4), (x3, y4)-(x4, y4), (x4, y4)-(x4, y3), (x4, y3)-(x3, y3)

注意

- 本コマンドによる線種、線幅は、線種指定 (ESX32.17)、線幅指定 (ESX32.19) コマンドの指定に従います。ただし、線種は実線、点線、透明線のみ有効です。線幅は 1/240インチと 3/240インチのみ有効です。また、パターン登録コマンド (ESX83) で登録した線種は使用できません。
- 本コマンドでは I-B 座標系の指定はできません。
- 本コマンドにより現在位置 CPP (Current Print Position) は変化しません。
- 太線を指定した場合、座標位置は線幅の中心に合わされます。
- 本コマンドは過去のプリンターとの互換性のためサポートされていますが、できるだけ使用せず、矩形描画2 (ESX32.80)、矩形描画3 (ESX32.C0) を使用してください。

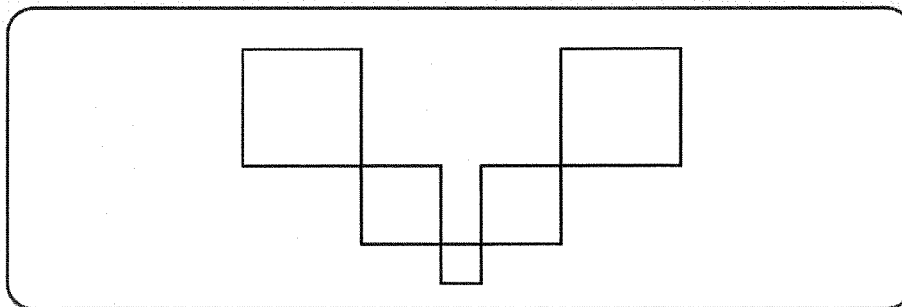
使用例

●コマンド列●

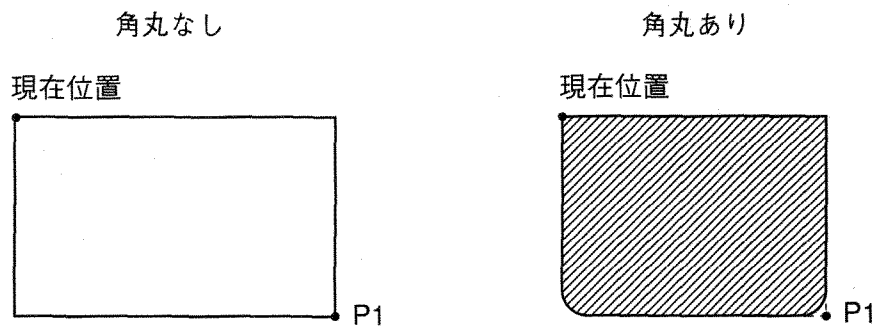
```
1B 7E 32 0002 17 00
1B 7E 32 0002 19 03
1B 7E 32 0011 C1 0000 0000 0300 0300 0500 0500 0600 0600
1B 7E 32 000D C1 0600 0500 0800 0300 0B00 0000
```

実線
太さ3

●印刷結果●



現在位置と指定位置を対角線上の2点にして矩形を描画します。
また、4隅独立に角の丸さを指定したり、内部を指定したパターンで塗りつぶすこともできます。

**書式**

1B 7E 32 LEN 80 CTRL PID FLAG P1 [H1 V1 H2 V2 H3 V3 H4 V4]

パラメータ長

LEN (2バイト): 可変。 X'0008'または X'0018'
あるいは、X'000C'または X'001C' (5584/5585/5589は
X'0008'または X'0018'を使用して下さい。)

パラメータ

CTRL (1バイト): 制御フラグ

ビット7: 予約済み。B'0'を指定してください。

ビット6: B'1'= 内部を網かけパターンで埋めます。

B'0'= 内部を網かけパターンで埋めません。

ビット5: B'1'= 輪郭を線種指定 (ESX 32.17), 線幅設定 (ESX 32.19)コマ
ントで指定された線で描きます。

B'0'= 輪郭を描きません。

ビット4: B'0'= 座標フィールドのバイト数 4バイト

B'1'= 座標フィールドのバイト数 8バイト

5587/5585/5589は B'0' だけが有効です。

ビット3~0: 予約済み。B'0000'を指定してください。

PID (1バイト): 網かけパターンID

CTRLバイトのビット6=1のときのみ意味をもちます。

X'00'~X'0F': 内蔵パターン

X'70'~X'7F': ユーザー登録パターン (縮小モード時, パターンが縮小され
ません) X'F0'~X'FF': ユーザー登録パターン (縮小モード
時, パターンが縮小されます)

内蔵パターンの ID は網かけ設定 (ESX77) コマンドを参照してください。

FLAG (1バイト): 基準座標系

X'00' = 相対 I-B 座標

X'02' = 相対 X-Y 座標

P1 (4バイトあるいは8バイト): 矩形の右下隅の座標 (X1, Y1)

ページ記述子設定 (ESX 52) で指定した単位系を使用します。

X1およびY1の範囲は, X'0001'~X'7FFF' (4バイトの時)

X'00000001'~X'007FFFFFFF' (8バイトの時)

5587/5585/5589は8バイトの指定はできません。

矩形の角を丸くするときは,以下のパラメーターで隅ごとに楕円の大きさを指定
します。単位系は, ページ記述子設定 (ESX 52) で指定したものとなります。
省略すると角丸にはなりません。

H1 (2バイト): 左上隅の楕円の対角軸の横方向の長さ

V1 (2バイト): 左上隅の楕円の対角軸の縦方向の長さ

H2 (2バイト): 右上隅の楕円の対角軸の横方向の長さ

V2 (2バイト): 右上隅の楕円の対角軸の縦方向の長さ

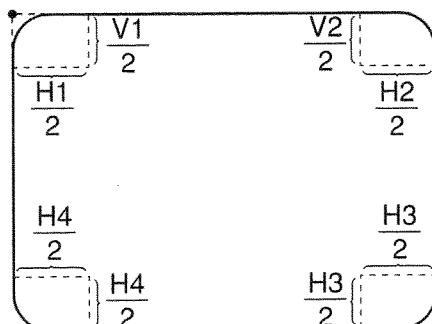
H3 (2バイト): 右下隅の楕円の対角軸の横方向の長さ

V3 (2バイト): 右下隅の楕円の対角軸の縦方向の長さ

H4 (2バイト): 左下隅の楕円の対角軸の横方向の長さ

V4 (2バイト): 左下隅の楕円の対角軸の縦方向の長さ

HnまたはVn=0のときはその隅は角丸にはなりません。



注意

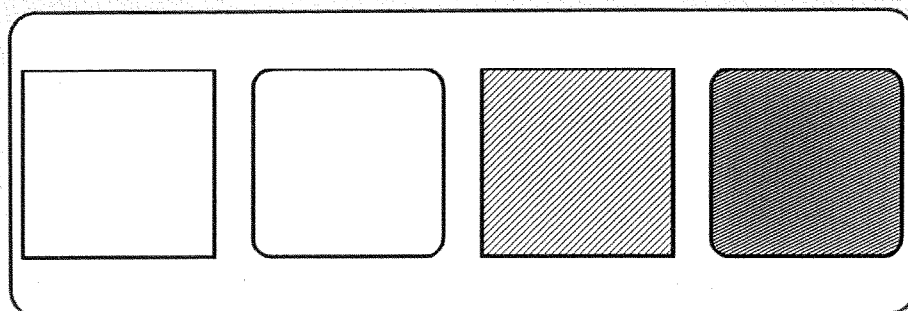
- 本コマンドによる線種，線幅は，線種設定 (ESX32.17)，線幅設定 (ESX32.19) コマンドの指定に従います。また，パターン登録コマンド (ESX83) で登録した線種も使用できます。ただし，登録時の線幅が1でないとき角丸は無効です。
この場合，線幅指定は無効で，登録時の線幅で描きます。
登録時の線幅が1のときは角丸が可能で，かつ線幅指定も有効です。
- 本コマンドにより現在位置 CPP (Current Print Position) は変化しません。
- 太線を指定した場合，座標位置は線幅の中心に合わされます。

使用例

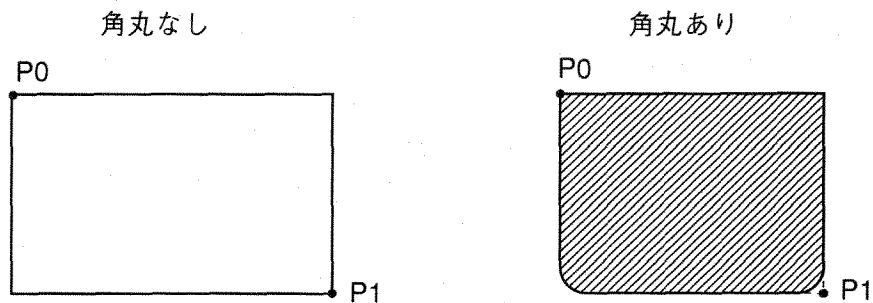
●コマンド列●

| | |
|---|------------|
| 1B 7E 32 0002 17 00 | 実線 |
| 1B 7E 32 0002 19 05 | 太さ 5 |
| 1B 7E 1C 0003 03 0100 | 現在位置水平移動 |
| 1B 7E 32 0008 80 20 00 00 0500 0500 | 角丸なし,輪郭線 |
| 1B 7E 1C 0003 03 0700 | 現在位置水平移動 |
| 1B 7E 32 0018 80 20 00 00 0500 0500 | 角丸あり,輪郭線 |
| 0100 0100 0100 0100 0100 0100 0100 0100 | |
| 1B 7E 1C 0003 03 0D00 | 現在位置水平移動 |
| 1B 7E 32 0008 80 60 0B 00 0500 0500 | 角丸なし,塗りつぶし |
| 1B 7E 1C 0003 03 1300 | 現在位置水平移動 |
| 1B 7E 32 0018 80 60 0C 00 0500 0500 | 角丸あり,塗りつぶし |
| 0100 0100 0100 0100 0100 0100 0100 0100 | |

●印刷結果●



指定位置 P0 と指定位置 P1 を対角線上の 2 点にして矩形を描画します。
また、4 隅独立に角の丸さを指定したり、内部を指定したパターンで塗りつぶす
こともできます。



本コマンドは現在位置のかわりに P0 および P1 で指定した点が対角線上の 2 点になることを除いて、矩形描画 2 (ESX 32.80) と同じです。

書式

1B 7E 32 LEN C0 CTRL PID FLAG P0 P1 [H1 V1 H2 V2 H3 V3 H4 V4]

パラメータ長

LEN (2バイト): 可変。 X'000C'または X'001C'
あるいは、X'0014'または X'0024' (5584/5585/5589は
X'000C'または X'001C'を使用して下さい。)

パラメータ

CTRL (1バイト): 制御フラグ

ビット7: 予約済み。B'0'を指定してください。

ビット6: B'1' = 内部を網かけパターンで埋めます。

B'0' = 内部を網かけパターンで埋めません。

ビット5: B'1' = 輪郭を線種設定 (ESX 32.17), 線幅設定 (ESX 32.19) コマ
ントで指定された線で描きます。

B'0' = 輪郭を描きません。

ビット4: B'0' = 座標フィールドのバイト数 4バイト

B'1' = 座標フィールドのバイト数 8バイト

5587/5585/5589は B'0' だけが有効です。

ビット3~0: 予約済み。B'0000'を指定してください。

PID (1バイト): 網かけパターンID

CTRLバイトのビット6=1のときのみ意味をもちます。

X'00'~X'0F': 内蔵パターン

X'70'~X'7F': ユーザー登録パターン (縮小モード時, パターンは縮小されません)

X'F0'~X'FF': ユーザー登録パターン (縮小モード時, パターンは縮小されません)

内蔵パターンのIDは網かけ設定 (ESX77) コマンドを参照してください。

FLAG (1バイト): 基準座標系

X'00'=絶対I-B座標

X'02'=絶対X-Y座標

P0 (4バイトあるいは8バイト): 矩形の左上隅の座標 (X0,Y0)

ページ記述子設定(ESX 52)で指定した単位系を使用します。

X0およびY0の範囲は, X'0001'~X'7FFF' (4バイトの時)

X'00000001'~X'007FFFFFFF' (8バイトの時)

また, 5587/5585/5589では4バイトで使用してください。

P1 (4バイトあるいは8バイト): 矩形の右下隅の座標 (X1,Y1)

ページ記述子設定(ESX 52)で指定した単位系を使用します。

X1およびY1の範囲は, X'0001'~X'7FFF' (4バイトの時)

X'00000001'~X'007FFFFFFF' (8バイトの時)

また, 5587/5585/5589では4バイトで使用してください。

矩形の角を丸くするときには, 以下のパラメーターで角ごとの楕円の大きさを指定します。ページ記述子設定 (ESX52)で指定した単位系が使用されます。

省略すると角丸にはなりません。

H1 (2バイト): 左上隅の楕円の対角軸の横方向の長さ

V1 (2バイト): 左上隅の楕円の対角軸の縦方向の長さ

H2 (2バイト): 右上隅の楕円の対角軸の横方向の長さ

V2 (2バイト): 右上隅の楕円の対角軸の縦方向の長さ

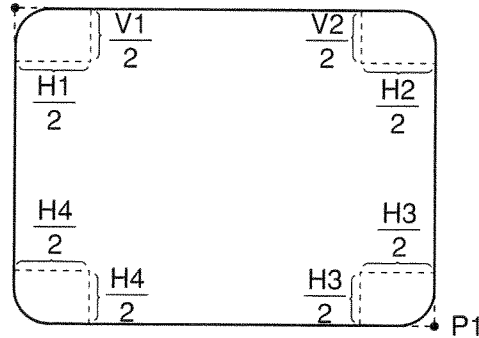
H3 (2バイト): 右下隅の楕円の対角軸の横方向の長さ

V3 (2バイト): 右下隅の楕円の対角軸の縦方向の長さ

H4 (2バイト): 左下隅の楕円の対角軸の横方向の長さ

V4 (2バイト): 左下隅の楕円の対角軸の縦方向の長さ

HnまたはVn=0のときはその隅は角丸にはなりません。



注意

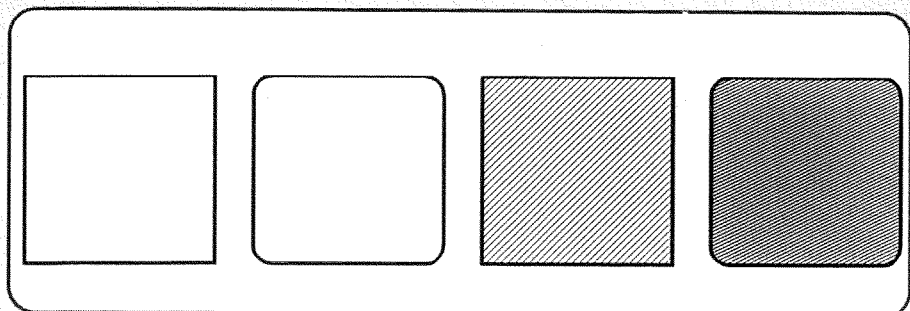
- 本コマンドによる線種，線幅は，線種設定 (ESX32.17)，線幅設定 (ESX32.19) コマンドの指定に従います。また，網かけ/塗りつぶしパターン登録コマンド (ESX83) で登録した線種も使用できます。ただし，登録時の線幅が1でないとき角丸は無効です。この場合，線幅指定は無効で，登録時の線幅で描きます。
登録時の線幅が1のときは角丸が可能で，かつ線幅指定も有効です。
- 本コマンドにより現在位置 CPP (Current Print Position) は変化しません。
- 太線を指定した場合，座標位置は線幅の中心に合わされます。

使用例

●コマンド列●

| | |
|--|------------|
| 1B 7E 32 0002 17 00 | 実線 |
| 1B 7E 32 0002 19 05 | 太さ5 |
| 1B 7E 32 000C C0 20 00 00 0100 0100 0600 0600 | 角丸なし，輪郭線 |
| 1B 7E 32 001C C0 20 00 00 0700 0100 0C00 0600 0100 0100 0100 0100 0100 0100 0100 0100 | 角丸あり，輪郭線 |
| 1B 7E 32 000C C0 60 0B 00 0D00 0100 1200 0600 | 角丸なし，塗りつぶし |
| 1B 7E 32 001C C0 60 0D 00 1300 0100 1800 0600 0100 0100 0100 0100 0100 0100 0100 0100 | 角丸あり，塗りつぶし |

●印刷結果●



指定位置 P0 と指定位置 P1 を結ぶ直線を引きます。

書式

1B 7E 32 LEN E1 FLAG P0 P1

パラメータ長

LEN (2バイト): X'000A'または X'0012'

(5587/5585/5589は、X'000A'だけが有効です)

パラメータ

FLAG (1バイト): 基準座標系

X'00' = 相対 I-B 座標

X'02' = 相対 X-Y 座標

P0 (4バイトあるいは8バイト): 直線の開始点の座標 (X0,Y0)

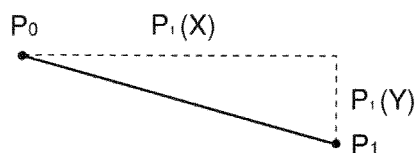
基準座標系で、単位はページ記述子設定 (ESX52) で指定した値が使用されます。

P1 (4バイトあるいは8バイト): 直線の終了点の座標 (X1,Y1)

P0からの相対値で単位はページ記述子設定 (ESX52) で指定した値が使用されます。

LEN = X'000A' のときP0, P1は4バイト, X'0012'のとき8バイトになります。

5587/5585/5589は、4バイトを使ってください。



注意

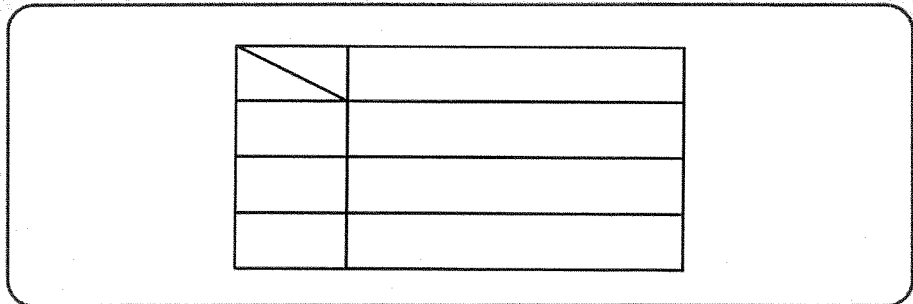
- 本コマンドによる線種、線幅は、線種設定 (ESX32.17)、線幅設定(ESX32.19)コマンドの指定に従います。また、線パターン登録コマンド (ESX83) で登録した線種も使用できます。ただし、登録時の線幅が1でないときは無効です。(実線になります)
- 本コマンドにより現在位置 CPP (Current Print Position) は変化しません。
- 太線を指定した場合、座標位置は線幅の中心に合わされます。

使用例

●コマンド列●

| | |
|---|-------------------|
| 1B 7E 32 0002 17 00 | 実線 |
| 1B 7E 32 0002 19 03 | 太さ3 |
| 1B 7E 32 000C C0 20 00 00 0000 0000 0B40 016B | 2" X 1/4 " |
| 1B 7E 32 000C C0 20 00 00 0000 016B 0B40 02D6 | 2" X 1/4 " |
| 1B 7E 32 000C C0 20 00 00 0000 02D6 0B40 0441 | 2" X 1/4 " |
| 1B 7E 32 000C C0 20 00 00 0000 0441 0B40 05AC | 2" X 1/4 " |
| 1B 7E 32 000C C0 20 00 00 0000 0000 02D0 05AC | 1/2" X 1" |
| 1B 7E 32 00 0A E1 00 0000 0000 02D0 016B | (0,0)-(1/4",1/4") |

●印刷結果●



印刷するコピー部数（オリジナルを含む）を指定します。

書式

1B 7E 33 LEN FLAG N

パラメータ長

LEN (2バイト) : X'0002'固定

パラメータ

FLAG (1バイト) : 予約済み。X'01'を指定してください。

N (1バイト) : コピー枚数 (X'01'~X'FF')

注意

- ページの境界以外で本コマンドを受信した場合も有効です。また1ページの中で何回でも指定することができますが、最後に指定したコピー枚数が有効になります。
- 初期化コマンド (ESX01) で、プリンターの操作パネルで指定した値に設定されます。

使用例

●コマンド列●

1B 7E 33 00 02 01 03
....

3ページずつ(オリジナル+コピー2枚)印刷
印字データ

●印刷結果●

略

全角／半角文字のフォント（文字スタイル，文字サイズ）を指定します。

書式

1B 7E 37 LEN FID

パラメーター長

LEN (2バイト) : X'0001'固定

パラメーター

FID (1バイト) : フォントID

X'00' 省略時値

明朝体標準サイズまたはゴシック標準サイズ（操作パネルの指定による）

X'01' 内部的に使用（標準サイズ）

X'02' 明朝体標準サイズ

X'03' 明朝体縮小サイズ

X'05' ゴシック標準サイズ（5587/5585/5584ではゴシック・フォント・カードが装着されているときのみ）

X'06' ゴシック縮小サイズ（5587/5585/5584ではゴシック・フォント・カードが装着されているときのみ）

文字サイズはプリンタによって異なります。

| | 標準サイズ | 縮小サイズ |
|----------------------------|-------|-------|
| 5587/5585/5589（240dpiプリンタ） | 32ドット | 24ドット |
| 5584/5588/5586（360dpiプリンタ） | 48ドット | 32ドット |

注意

- FID=X'01'はOSがユーザー登録文字を印刷する際に使用します。したがってユーザー登録文字と本コマンドを混在して使用する場合は、必ず、BIOSを経由してデータをプリンターに送るようにしてください。
- 本コマンドで全角/半角フォントを別々に指定することはできません。
- 本コマンドはグラフィック中の文字に対しても有効です。
- パラメーターに無効な値が指定された場合は、本コマンドは無視されます。
- 初期化設定コマンド(ESX01)を受信すると、プリンタの操作パネルで指定した値に設定されます。

使用例

●コマンド列●

```
1B 7E 37 0001 02 '全角/半角フォント 明朝32' 0D0A
1B 7E 37 0001 03 '全角/半角フォント 明朝24' 0D0A
1B 7E 37 0001 05 '全角/半角フォント ゴシック32' 0D0A
1B 7E 37 0001 06 '全角/半角フォント ゴシック32' 0D0A
```

●印刷結果●

| | | | | | | | |
|----|---|----|------|---|---|---|---|
| 全角 | ・ | 半角 | フォント | 明 | 朝 | 3 | 2 |
| 全角 | ・ | 半角 | フォント | 明 | 朝 | 2 | 4 |
| 全角 | ・ | 半角 | フォント | ゴ | シ | ッ | ク |
| 全角 | ・ | 半角 | フォント | ゴ | シ | ッ | ク |

76

論理ページ設定

ESX 38

物理ページ上に論理ページ領域を設定します。

書式

1B 7E 38 LEN HOR VER WID DEP CTRL

パラメータ長

LEN (2バイト) : X'0009'または X'0011'
(5587/5585/5589では、X'0009'を使用してください)

パラメータ

HOR (2バイトあるいは4バイト) : 論理ページの水平方向開始位置
指定された基準点からの水平方向の距離をページ記述子設定 (ESX52)で指定した単位系で指定します。

VER (2バイトあるいは4バイト) : 論理ページの垂直方向開始位置
指定された基準点からの垂直方向の距離をページ記述子設定 (ESX52)で指定した単位系で指定します。

WID (2バイトあるいは4バイト) : 論理ページの横幅
ページ記述子設定 (ESX52)で指定した単位系で指定します。
ただし、0.5インチ以上を指定してください。

DEP (2バイトあるいは4バイト): 論理ページの縦幅

ページ記述子設定 (ESX52)で指定した単位系で指定します。

ただし,0.5インチ以上を指定してください。

CTRL (1バイト): 基準点の指定

ビット7~2: 予約済み。 B'000000'を指定してください。

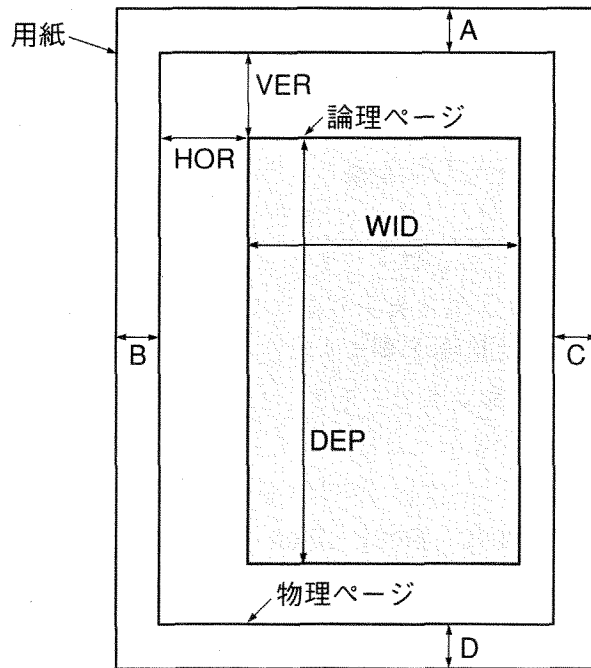
ビット1: B'0'=操作パネルで指定されたマージン位置を基準点とします。

B'1'=紙の左上端を基準点とします。(操作パネルのマージンには影響されません。)

ビット0: 予約済み。 B'0'を指定してください。

範囲は, X'0001'~ X'7FFF' (2バイトのとき)

X'00000001'~ X'007FFFFF' (4バイトのとき)



注意

- 以下、設定可能な最大ページとは、用紙サイズから各端最小マージン (枚数によって異なります) を除いた部分です。
- 論理ページの左隅あるいは上隅が設定可能な最大ページを超えて指定された場合は、論理ページの最左端あるいは最上端は、設定可能な最大ページの最左端あるいは最上端になります。
- 論理ページの右隅あるいは下隅が設定可能な最大ページを超えて指定された場合は、論理ページの最下端あるいは最右端は、設定可能な最大ページの最下端あるいは最右端になります。
- 本コマンドで設定できる論理ページ原点と「論理原点指定コマンド」(ESX 53) の設定は同じで、あとから指定されたほうが有効になります。
- 本コマンドで設定できる論理ページの幅と高さは「ページ記述子(ESX 52)」の設定と同じで、あとから指定されたほうが有効になります。
- CTRLバイトのビット1=1のとき、HOR, VERに最小マージンより小さい値を指定すると最小マージンに設定されます。
- パラメーターに無効な値が指定された場合は、本コマンドは無視されます。
- 初期化設定コマンド (ESX01) を受信すると、電源投入時の値 (操作パネルで指定した印字エリア) に設定されます。
- 論値原点設定と論理ページ設定を同時に行いたい場合、メディア座標原点設定 (ESX50)、論理ページ設定 (ESX38)の順に実行するようにしてください。
- 本コマンド実行の結果、論理ページ幅が短くなって現在水平位置が右マージンを超えた場合、水平位置は左マージン位置に戻されます。また、論理ページ長が短くなって現在垂直位置が下マージン位置を超えた場合、垂直位置は上マージン位置に戻されます。

使用例

●コマンド列●

1B 7E 38 0009 04B0 0708 25A8 2D00 00

HOR=5/6" VER=5/4"
WID=6" DEP=8"

●印刷結果●

略